



京都学園大学同窓会滋賀県支部タイムス

滋賀県支部

発行責任者:馬場 善和

同窓会 4大ニュース

①第41回龍尾祭及びホームカミングデー



《ホームカミングデー受付テント》

10月30日(金)～11月1日(日)の3日間、第41回龍尾祭(ホームカミングデー)が実施されます。最終日には同窓会総会も開催されますので卒業生の皆様、母校へお越し下さい。同窓会のテントで受付をされると金券(500円分)がもらえます。今年の龍尾祭のテーマは「笑顔 ～きらりん☆Revolution～」みんなが笑顔になるようにという思いを込めてつけられました。音楽祭の出演者は福原美穂、文化講演会は薬師寺保栄(元プロボクサー)、暴笑祭は「天津」「かまいたち」「野性爆弾」です。模擬店は55軒。(音楽祭は野外で実施され無料となっています。)



《野外ステージ》

②大学開校40周年寄付「三面ホール型ソーラー時計」



大学創立40周年を記念して同窓会から「三面ホール型ソーラー時計」を寄付します。野球場、サッカーグラウンドから見渡せて、レトロ調のアナログ時計で設置工事付税込392万となりました。尚、贈呈式(除幕式)は第37回同窓会総会后実施されます。

③同窓会が支援している Wake up!

まち(亀岡)と学園大とひとが繋がる、学生のためのフリーニュースペーパー「Wake up!」をご存じですか? 亀岡を中心とした町ネタ、学生の紹介やクラブ活動に関する学内ネタ等で構成されています。発行責任が亀岡市民新聞で、2009年4月から月一度発行されています。発行元は新聞部、と同窓会です。新聞部OB、同窓会常任理事の私にとってはとても気になる存在です。同窓生のお店も掲載されて、さらにお得な情報が掲載されていますのでご覧下さい。“頑張っている学生から元気がもらえますヨ!!”

京都学園大学生のためのフリーニュースペーパー

Wake up!

④6番目の地方支部「四国支部」設立!

同窓会支部設立は2004年滋賀県支部から始まり、九州東海、中国、北陸そして2009年10月25日に6番目「四国」支部が誕生しました。支部長には3期生の宮川雅敬さんが就任されました。会場はJR高松駅前の全日空ホテルクレメント高松「桂・櫻」で同窓会常任理事9名を含め総勢34名の参加で、設立総会としては多数の参加者でした。四国支部はこの支部よりもアケブな支部になりそうです。尚、住所確認できた965名に案内状を送付された。経営学部の大西昭生教授から「京都学園大学最新情報!～大学の新たなチャレンジがはじまる～」のスピーチは楽しく、判りやすい内容でした。大学のキャリアサポートセンターの加藤祐一さんから「就職の現状と求人のお話」のお話をされた。浅野同窓会会長の乾杯発声後、新亀岡駅舎、学園大キャンパスレポートをスクリーンを使い同窓会常任理事で亀岡市民新聞社編集長の竹内博士さんからコミカルな最新情報を発信されました。参加者全員から持ち時間1分の自己紹介があり、和やかな雰囲気の中、意義のある四国支部総会・懇親会が次回の再会を約束して無事終了いたしました。私は幸運にもこれまで全ての支部の設立支部総会・懇親会に出席させて頂いております。今回は滋賀県以外の近畿圏の支部設立を熱望いたします。志願者の増加と就職のお世話が数多く期待できる近畿圏が一番大切なエリアです。また、各支部間の交流が盛んになれば、大学発展に寄与する機会も増えて、同窓会会員間の親睦が図れ、更なる飛躍が期待できると思います。



《四国支部設立総会記念撮影ハ～イポーズ!!》

同窓会滋賀県支部

【編集後記】

毎年、猛暑の夏が過ぎ、少し肌寒くなると学園大のキャンパスは龍尾祭の話題で活気づきますが、今年は様子がおかしいです。グラウンドは人工芝化されていますので残念ですが防護の為、ファイナルを告げる約15分間の花火大会は中止、それにしても第40回出演アーティストはすごかった。しょこたんこと「中川翔子」、昨年のM1(漫才)グラプリ獲得の「NON STYLE」、2009年ピン芸人R-1ぐらんぷり優勝の「中山巧太」、文化講演会に夜回り先生の「水谷修」が出演された。さすが記念すべき第40回目の龍尾祭でしたが・・・予算の減少と不況で第41回龍尾祭に影響がでているのかな? 龍尾祭実行員委員会に私が所属していた当時は学友会「中央委員会」の特別委員会です。龍尾祭実行委員の皆様は龍尾祭期間中はセミナーハウス(第一学寮跡地)に泊り込みと聞いています。私の12回龍尾祭の時は現在の学生ホールのところにあったクラブBOXで寝泊りしていました。そのメンバーとは卒業して27年間経過しましたが、今も大切な友人達です。最後にこの滋賀県支部タイムスが同窓会の「つながり」に少しでも貢献できる情報になれば嬉しく思います。

